

第6講座 古文

1 次の古文と現代語訳を読んで、あとの問いに答えなさい。

むかし、^①をところ、^②いとうるはしき友ありけり。片時さらずあひ思ひけるを、人の国へ行きけるを、いとあはれと思ひて、^A別れにけり。^B月日経ておこせたる文に、あさましく対面せで月日の経にけること。^④忘れやし給にけん、^Cいたく思ひわびてなむ侍。^⑤世中の人の心は、目かるれば忘れぬべき物にこそあめれといへりければ、よみてやる。^D

目かるとも思ほえなくに忘らるる時しなければ面影にたつ

(『伊勢物語』より四十六段)

(現代語訳)

昔、ある男に、とても仲むつまじい友人がいた。しばらくの間も離れることなく思いを交わし合っていたが、地方へ行ったのを、とても悲しく思っ、別れたのだった。月日が経ってから送ってきた手紙に、驚くほどお会いしないで月日が経ってしまったことです。お忘れになったのではないかと、とても悲しい思いをしております。世の中の人の心は、離れていて会わないでいると必ずと言っていいほど忘れてしまうものようですと言ったので、歌をよんで送る。

会わないで離れているとも思われないことです。忘れる時なんてないので、いつでもあなたのお顔が幻として私の目の前にあります。

問一 線A～Dのうち、他と動作主の異なるものを一つ選び、記号

で答えなさい。

問二 線①「をところ」、②「うるはしき」、③「あひ思ひける」の読

み方を、現代かなづかいのひらがなで書きなさい。

① _____ ② _____
③ _____

問三 線④「おこせたる文」の内容が書かれているのは、どこから

どこまでですか。古文中から初めと終わりの四字を書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--

問四 線⑤「忘れやし給にけん」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

い。

(1) 何をお忘れになったのではないかと saying いるのですか。

(2) なぜお忘れになったのではないかと思うのですか。

問五 「目かるとも……」の歌に込められた気持ちとして最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 忘れてしまうほどの月日は経っていない。

イ 別れ別れになっても、心は離れていない。

ウ さびしいときには、いつでも会いに来ればよい。
エ お互いに忘れないでいれば、また会える日が来る。

2

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

*1① 無益のことをなして時を移すを、愚かなる人とも、僻事する人ともい

ふべし。国のため、君のため、やむことをえずしてなすべきこと多し。

其余の暇、いくばくならず。思べし、人の身にやむことをえずして営

む所、第一に食ひ物、第二に着る物、第三に居る所なり。人間の大事、

この三には過ぎず、飢え、寒からず、雨風に侵されずして閑かに過ぐす

を楽しむとす。

但、人皆病あり。病に侵されぬれば、その愁へ、忍びがたし。医療を

忘るべからず。薬を加へて、四のこと、求めえざるを貧しとす。此四欠

けざるを富めりとす。此四の他を求営むを奢りとす。四のこと儉約なら

ば、誰人が足らずとせん。

(吉田兼好『徒然草』より第二百二十三段)

*1 無益のこと 無駄なこと。

*2 僻事する人 間違ったことをする人。

*3 いくばくならず どれほどもない。

*4 人の身に 人間の身として生きていくために。

*5 営む所 得ようと努めることは。

*6 忍びがたし たいがたい。

*7 儉約ならば つつましかかな有り様ながら足りているならば。

問一 線①「無益のこと」と対照的な内容の言葉を古文中から十五

字で書き抜きなさい。

問二 線②「この三」の内容を意味する三字熟語を書きなさい。

問三 線③「四のこと」を、それぞれ古文中から書き抜きなさい。

問四 線④「誰人が足らずとせん」の意味として最も適当なものを

次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 誰にも足りないところをやるだろう。

イ 誰にも足りないとは言えない。

ウ 誰が足りないとするだろうか。

エ 誰かが足りないようにしたのである。

問五 この文章で述べられている筆者の考えと合うものを次のうちから

一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人間としてできるだけ多くのことを得ようと努力したいものだ。

イ 四つのことしか手に入らない生活は、貧しいと言ってよい。

ウ 病に侵されないようにすることで儉約ができる。

エ 生きていく上で、四つのことが必要でかつ十分である。

練習問題

1 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

うらやましげなる物 経などならふとて、いみじうたどしく、わすれがちに、返返おなじ所をよむに、法師はことほり、男も女も、くるくと、やすらかによみたるこそ、あれがやうにいつの世にあらん、とおほゆれ。心ちなどわづらひてふしたるに、笑うち笑ひものなどいひ、思事なげにてあゆみありく人みるこそ、いみじう 。

稲荷に思おこしてまうでたるに、中の御社のほどの、わりなうくるしきを念じのぼるに、いささかくるしげもなく、おくれて来と見るものども、ただいきに先にたちてまうづる、いとめでたし。二月の午の日の暁に、いそぎしかど、坂のなからばかりあゆみしかば、巳の時ばかりになりにつけり。やうやうあつくさへなりて、まことにわびしくて、など、

かからでよき日もあらんものを、なにしまうでつらむ、とまで涙もちてやすみ困ずるに、四十よばかりなる女の、壺装束などにはあらで、ただひきはこえたるが、「まろは七度まうでし侍ぞ。三度はまうでぬ。いま四度は事にもあらず。まだ未に下向しぬべし」と、道にあひたる人にうちいひて、くだりいきこそ、ただなる所には目にもとまるまじきに、

これが身にただいまならばや、とおほえしか。

女兒も男児も法師も、よき子ども持たる人、いみじううらやまし。髪いとながく、うるはしく、下りばなどめでたき人。又、やむことなき人の、よろづの人にかしこまれ、かしづかれ給、見るもいとうらやまし。手よくかき、歌よくよみて、もののをりごとにも、まづとり出でらるる、うらやまし。

*1 返返Ⅱくり返しくり返し。

(清少納言『枕草子』より第百五十一段)

*2 法師はことほりⅡ法師は当然のこととして。

*3 くるくるとⅡ舌のよく回る様子。 *4 やすらかにⅡ簡単に。

*5 あれがやうにいつの世にあらんⅡあの人のように、いつの世になつたられるのか。

*6 笑うち笑ひⅡ快さそうに笑い。

*7 稲荷Ⅱ京都伏見にある稲荷大社。

*8 中の御社Ⅱ上中下の三つあるうちの、中の社。山の中にあつた。

*9 わりなうくるしきをⅡ耐えがたく苦しいのを。

*10 念じのぼるにⅡ我慢して登るのに。

*11 ただいきにⅡわき目もふらず、どんどん。

*12 なからばかりⅡ半分ほど。 *13 巳の時Ⅱ午前十時ころ。

*14 などⅡどうして。

*15 やすみ困ずるにⅡ休息し疲れ切っていると。

*16 壺装束などにはあらで、ただひきはこえたるがⅡ外出姿でなく、ただ裾をからげただけなのが。

*17 未に下向しぬべしⅡ未の刻(午後二時)に帰途につけるでしょう。

*18 ただなる所にはⅡ普通の場合だと。

*19 下りばⅡ垂れ下がった額髪。

*20 ものをりごとにもⅡ何か事があると、その都度。

問一 〰〰線A「いみじう」、B「わづらひて」、C「まうでたるに」の

読み方を現代かなづかいのひらがなで書きなさい。

A

B
C

問二 〓線 a 〓 d の「の」のうち、一つだけ他と意味・用法の異なるものがあります。それを記号で答えなさい。

問三 〓線 ③「めでたし」、④「やうやう」、⑧「やむごとなき人」の意味として最も適当なものをそれぞれ次のうちから選び、記号で答えなさい。

③ めでたし

ア すばらしい イ めったにない

ウ 驚きあきれる エ くやしい

④ やうやう

ア やつと イ しばしば

ウ ほどほどに エ だんだん

⑧ やむごとなき人

ア 賢い人 イ 高貴な人

ウ つまらない人 エ 勢いのある人

問四 〓線 ①「あれがやうに」とは、どんな様子を指していますか。古文中から十五字以内で書き抜きなさい。

--	--

問五 〓線 ②「こそ」に注意して、にあてはまる言葉とし

て最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア うらやまし

イ うらやましけれ

ウ うらやましかり

エ うらやましく

問六 〓線 ⑤「かからでよき日もあらんものを」とは、「このようなく、よい日もあるだろうに」という意味ですが、「このようでなく」とは、どのようなことですか。

問七 〓線 ⑥「四十よばかりなる女」について述べたものとして最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア これまで七度参拝にきたうち、三度は参拝せず、残り四度もご利益はなかった。

イ これまで七度参拝しようとしたが、三度は参拝できたものの、四度はできなかった。

ウ 今日七度参拝する予定で、すでに三度参拝し、あと四度も問題なくできそうである。

エ 今日七度参拝しようと思ってきたが、三度だけ参拝して、あとは参拝せず帰るつもりである。

問八 〓線 ⑦「これが身にただいまならばや」とは、「この女の身に直ちになり代わりたいものだ」という意味ですが、こう思ったのはこのとき筆者がどんな状態にあったからですか。